

| | |
|-------|---------------|
| 作成年月日 | 令和2年11月17日 |
| 作成部局 | 教育委員会事務局社会教育課 |

特別展「開館50周年 今こそ GUTAI ^{ケンビ} 県美の具体コレクション」

1. 展覧会概要

「具体」と略される「具体美術協会」は、昭和29年、兵庫県芦屋市で発足した前衛美術グループです。吉原治良と阪神間の若い作家たちによって結成され、リーダーの吉原が昭和47年に亡くなるまで、「人の真似をするな」を合言葉に制作を続けました。

当館としては平成16年の「具体」回顧展以来、所蔵品を一度に展示する久しぶりの機会となります。作品収集の歩み、兵庫ゆかりの画家たちと美術館の関係など、当館ならではのエピソードとともに貴重な作品を展示します。

コロナ禍での芸術文化のあり様が問われている今こそ、戦後の復興期に生まれた迫力と熱量を感じる展覧会をご覧ください。

会 期 令和2年12月5日〔土〕－令和3年2月7日〔日〕

開館時間 午前10時－午後6時（入場は閉館の30分前まで）

休 館 日 月曜日（ただし1月11日〔月・祝〕は開館し、翌12日〔火〕は休館）
年末年始（12月28日〔月〕－1月4日〔月〕）

観覧料金 一般1,300円、大学生900円、70歳以上650円
高校生以下無料

※事前予約が必要です。

会 場 兵庫県立美術館（〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1）

主 催 兵庫県立美術館、神戸新聞社

2. 関連事業（主なもの）

学芸員によるレクチャー、
特別展解説員によるスライド解説会

お問い合わせ先：兵庫県立美術館 営業広報担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL：078-262-0905 FAX：078-262-0903



山崎つる子《作品》1961年

特別展 **開館 50 周年** **今こそ GUTAI** ケンビ **県美の具体コレクション**

会期：2020年12月5日（土）－2021年2月7日（日） 開館時間：午前10時～午後6時 ※入場は午後5時半まで
 休館日：月曜日（ただし、1月11日（月）は開館、翌12日（火）は休館）、年末年始（12月28日（月）～1月4日（月））
 観覧料金：一般1,300円／大学生900円／高校生以下無料／70歳以上650円／障がいのある方（一般）300円、（大学生）200円
 ※ 予約優先制です。兵庫県立美術館のWebサイトからご予約ください。（電話予約受付窓口を開設しました。TEL：078-262-1011）
 主催：兵庫県立美術館、神戸新聞社
 協賛：公益財団法人伊藤文化財団、一般財団法人みなと銀行文化振興財団
 特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

開催趣旨

兵庫県立美術館では、このたび「開館50周年 今こそGUTAI ケンビ 県美の具体コレクション」展を開催します。

本展では、所蔵品の中から具体美術協会（具体、1954-1972）の作品を取り上げます。このグループは、戦後の日本美術を語る上で欠かせない“GUTAI”として、国際的にも高い評価を受けています。

1970年の県立近代美術館の開館以来、長年にわたって築かれた当館の「具体」コレクションは、充実した点数、豊かな内容ともに、最も誇れるもののひとつです。この展覧会では、兵庫県立近代美術館から現在にいたる50年間の収集を視野に入れながら、ひとつのイメージに収斂しない多角的な「具体」像を考えます。

リーダーの吉原治良は、現代の美術について「よしはらじろう 厳しい現代を生きぬいて行く人々の最も解放された自由の場」（「発刊に際して」機関誌『具体』1号、1955年）と記しています。戦後の復興期に立ち上がり、大阪万博の頃まで旺盛な活動を続けた具体。その強靱な精神は、今を生きる私たちにも、力を与えてくれるのではないのでしょうか。



図1 田中敦子《作品》1958年
 兵庫県立美術館（山村コレクション）
 ©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

展覧会構成

I 最初期の収集 郷土ゆかりの美術として

具体は1954年に結成され、吉原治良の逝去を受けて1972年3月に解散しました。県立近代美術館（近美）開館の頃は、まだグループが存続していた時期にあたります。館の収集の柱は「版画」と「彫刻」そして「郷土ゆかりの美術」の3つ。具体も「郷土ゆかりの美術」として、位置づけられていました。

【出品作家】白髪一雄、元永定正、吉原治良



図2 吉原治良《黒地に赤い円》1965年
 兵庫県立美術館

II 女性作家のめざましい活躍

初期の「具体」の作家や作品には、新奇な手法や派手なアクションといった、行為性と物質性が際立っています。一方で、そのような傾向に合致しない、特異な例外とされる作家たちもまた、グループの中で重要な位置を占め、特徴的な作品を作り出していました。たとえば、最初期から在籍した山崎つる子、田中敦子、白髪富士子らの作品には、新素材への鋭敏な感覚や、壮大な世界観などがみられます。



図3 白髪富士子《作品》1960年
 兵庫県立美術館（山村コレクション）

【出品作家】菅野聖子、白髪富士子、田中敦子、名坂有子、堀尾昭子、森内敬子、山崎つる子



図4 山崎つる子《作品》1961年
 兵庫県立美術館

III 現代美術—山村徳太郎氏と近美の並走

兵庫県西宮市に、企業家にして美術コレクターの山村徳太郎氏がいました。山村氏は、具体の作品をヨーロッパからも買い戻し、1980年代に集中して集めました。同じ時期、近美でも、収集活動が活発化しています。山村氏の没後、そのコレクションはまとまって近美に収蔵されることとなり、一気に収蔵品が増えることになりました。その中には、各会員の具体美術展への出品作など、重要な大作がいくつも含まれています。

【出品作家】上前智祐、浮田要三、金山明、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、前川強、正延正俊、松谷武判、向井修二、村上三郎、元永定正、吉原通雄



図5 嶋本昭三《作品》1961年
兵庫県立美術館(山村コレクション)
©shimamotoLAB Inc.



図6 元永定正《作品 N.Y. No.1》1967年
兵庫県立美術館
©モトナガ資料研究室

IV 多角的な理解に向けて 県美の G U T A | コレクション

具体関連作品の増加を受けて、近美の収集方針の柱に「現代美術」が加わりました。その後もコレクションは拡大を続けます。2002年、阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして、現在の場所に移転し、名称が兵庫県立美術館と改められました。2004年にグループの結成50周年を記念する「具体回顧展」を開催したのち、グループの後半期に加入した作家たちが、多くコレクションに加わりました。豊富な点数と幅広い作風は、具体の多角的な理解へとつながります。

【出品作家】今井祝雄、小野田實、喜谷繁暉、木梨アイネ、田井智、高崎元尚、田中竜児、坪内晃幸、堀尾貞治、松田豊



図7 今井祝雄
《白のセレモニー・HOLES#6》
1966年
兵庫県立美術館
©Imai Norio

関連イベント

テーマ・レクチャー

当館学芸員が毎回違うテーマでお話しします。

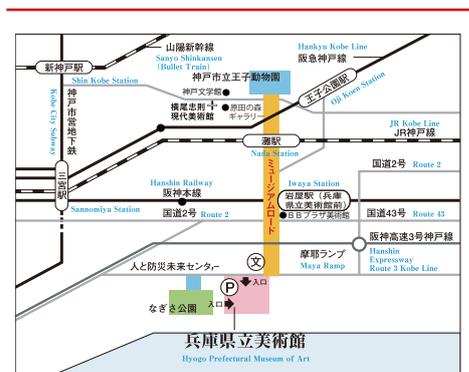
- ①「素材と技法から見る具体」 鈴木慈子、横田直子 2020年12月20日(日)
 - ②「具体18年の歩み、そして今」 鈴木慈子 2021年1月10日(日)
 - ③「兵庫県美の50年と具体」 江上ゆか 2021年1月24日(日)
- いずれも午後2時より約60分 ミュージアムホールにて(定員125名)
聴講無料 当日先着順

水曜日のミニトーク

当館特別展等解説員が作品鑑賞のポイントをご紹介します。
毎週水曜日 午後2時より約30分 レクチャールームにて(定員40名)
聴講無料 当日先着順

こどものイベント「はがきアートでコンクール！」

具体の作家たちも取り組んでいたはがきのアート。あなた一枚をぜひ美術館まで！
対象部門：①小学生 ②中学生・高校生
応募締切：2021年1月12日(火)※必着
作品展示：2021年1月26日(火)～2月7日(日)
※作品テーマ、作品規定、賞、応募制限、応募方法、応募にあたっての注意事項、返却方法等、詳細は当館 Web サイトをご確認ください。
問い合わせ先：兵庫県立美術館 こどものイベント係 TEL 078-262-0908



【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分
- ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
- ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
- ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29、101系統)
阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
- ・ 地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

【お問合わせ】

兵庫県立美術館
(学芸担当：鈴木、橋本、江上)
(広報担当：細田、村上、有田)
〒651-0073
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL: 078-262-0905 FAX: 078-262-0903
Mail: press@artm.pref.hyogo.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予定を変更する場合があります。
当館 Web サイトより 最新の情報をご確認ください。

ケンピ
開館 50 周年 今こそ GUTAI 県美の具体コレクション
広報画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp / FAX : 078-262-0903 兵庫県立美術館 営業・広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。
申込確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

1 田中敦子《作品》1958年 兵庫県立美術館(山村コレクション)
©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association
※コピーガード対応に限り WEB 掲載可能 (長辺 400pixel 以下、解像度 72dpi) です。

2 吉原治良《黒地に赤い円》1965年 兵庫県立美術館

3 白髪富士子《作品》1960年 兵庫県立美術館(山村コレクション)

4 山崎つる子《作品》1961年 兵庫県立美術館

5 嶋本昭三《作品》1961年 兵庫県立美術館(山村コレクション)
©shimamotoLAB Inc.

6 元永定正《作品 N.Y. No.1》1967年 兵庫県立美術館
©モトナガ資料研究室

7 今井祝雄《白のセレモニー・HOLES#6》1966年 兵庫県立美術館
©Imai Norio

●貴媒体の情報をご記入ください。

○媒体名 (番組・雑誌名等) :

○媒体種 : 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB・その他 ()

○掲載・放送予定日 : ○参考 URL

○原稿確認予定日 :

※WEB 掲載の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

●申請者の情報をご記入ください。

○貴社名 :

○所在地 : 〒

○ご担当者名 :

○メールアドレス :

○電話番号 :

【画像使用に際しての注意事項】

○「作家名」「作品名」「制作年」「クレジット」
「所蔵先」を明記してください。

▼参考

「作家名」田中敦子
「作品名」「制作年」《作品》1958年
「クレジット」©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko
Association
「所蔵先」兵庫県立美術館(山村コレクション)

○作品画像の加工(着色、トリミング、文字載せ
など)はできません。

○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿
の段階で「営業・広報担当」までお送りくださ
いますようお願いいたします。

○掲載媒体を1~2部、もしくは URL、同録(DVD、
CD)を「営業・広報担当」宛にお送りください。

○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせてい
ただきます(会期終了まで)。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、
改めて申請願います。

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の3営業日前までに
 メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込日 年 月 日

メール送付先: press@artm.pref.hyogo.jp / FAX送付先: 078-262-0903

取材内容

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------|---|---|-------|---|---|--|
| 希望日時 | 第1希望 | 年 | 月 | 日 | 曜 | 時 | 分 | ～ | 時 | 分 | |
| | 第2希望 | 年 | 月 | 日 | 曜 | 時 | 分 | ～ | 時 | 分 | |
| | 第3希望 | 年 | 月 | 日 | 曜 | 時 | 分 | ～ | 時 | 分 | |
| 希望場所 | | | | | | | | | | | |
| 企画内容 | | | | | | | | | | | |
| カメラ撮影 | <input type="checkbox"/> あり | スチール | 台 | | ムービー | 台 | | 三脚/脚立 | 台 | | |
| | <input type="checkbox"/> なし | | | | | | | | | | |
| 取材人数 | 人 | 取材時の代表者名 | | | | | | | | | |
| 媒体種別 | <input type="checkbox"/> テレビ | <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 新聞 | <input type="checkbox"/> Web | <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 媒体名 | | | | | | | | | | | |
| 掲載・放送 予定日時 | <input type="checkbox"/> 掲載 | 年 | 月 | 日 | 曜 | 時 | 分 | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 放送 | | | | | | | | | | |

| | | |
|------|--------|--|
| ご連絡先 | 担当者名 | |
| | 社名・部署名 | |
| | 住所 | |
| | 電話番号 | |
| | FAX | |
| | E-mail | |

- * 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- * 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
- * 掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 営業・広報担当(細田・村上・有田)
 〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903 Mail:press@artm.pref.hyogo.jp